

企業と地域それぞれの支えがあつて、市全体の健康づくりが形成されていきます

市長の健康法など健康に関して
気を付けていることを

お聞かせください。
健康法は、愛犬「マルちゃん」との毎朝15分の散歩です。一緒に町内の田んぼ道を数百mゆっくり歩きながら、季節の移ろいを感じたり、いろいろ考えながら過ごしています。これからはタンポポが咲いたり、田

植えが始まって稲穂が実り稻刈りがあつたり、遠くには八甲田が見えたりするので、自然を見ながらリラックスして続けています。

健康に関して気を付けていることは、食事です。3年くらい前に血液検査をしたら、「これが俺の血管か?!」と思うくらい血がドロドロで一番悪い診断でした。実はその頃、夜は外食で脂っこいものが多いので、朝は家でご飯を食べ、昼はあつきりとしたうどんやラーメンなどの麺類を食べていました。でも、病院からはバランスが重要だと指導

からは、昼食は妻の作った弁当を持参しています。お弁当の中身は野菜中心で栄養バランスが考えられており、油ものは少なく、全体的に量も少なめです。おかげで、次の年からは普通の血液に戻りました。やはり食生活が原因だったことが分かり、以後気を付けております。

健康づくりに関するお取組をお聞かせ願います。

健康づくりに関するお取組みをお聞かせ願います。

リーダーやサポーターを育成しております。市で講座を開催して健康に関する知識を積んで勉強していただき、地域の健康と活動をけん引していくリーダーになっていただいております。リーダーは現在77人、サポーターは164人いらっしゃいます。健康づくりはリーダーが核となり、そしてサポーターが実践を広め、地域の市民センターなどで活動の幅を増やしております。企業と地域それぞれの支えがあつて、市全体の健康づくりが形

昨年11月に「あおもり市民健康アップフォーラム」が開催されました。イベントの内容や反響をお聞かせください。



「あおもり市民健康アップフォーラム」では、市長自ら子どもたちに表彰を行った。

きに健康を考えるきっかけにな
たと思います。行政がただ旗を
振っているだけではなく、企業や地
域の協力をいただきながら今後も
取り組みを続けたいと思います。

行つたり、子どもたちには「やさいをたべてげんきもりもり」の表彰を行いました。子どもたちの取り組みは、野菜を食べたら毎日野菜のぬり絵を塗り、最後に好きな野菜のイラストを描いてもらうという活動です。保護者向けにも家庭において実践するきっかけづくりとして啓発を行っています。会場のロビーでは、地域活動をされている方々の健康づくり普及啓発のパネルなども展示しました。そして、盛り上がり上がったのが抽選会です。健康トライアルという形で約2か月間、健康に関するイベント（ウォーキングや体操など）に参加して、

A portrait of a man with glasses and a suit, speaking. He is wearing a red pin on his lapel. The background shows a window with vertical blinds and a wooden wall.

健康診査やがん診断の受診です。早期発見・早期治療につながりますので、必ず受けていただきたいです。

基本は、市民の「ヘルス・リテラシー」＝「健康教養」が重要です。

「健康アップ推進会議」は4つの部会から成り立っており、①健康づくりリーダー・サポートーを養成する「人材育成部会」②企業や事業所での健康づくり活動を支援する「職域健康づくり部会」③多くの市民の方に声掛けをする「健康づくり普及啓発部会」④運動や食などを通じた健康づくり活動をする「運動・食等推進部会」です。さまざまな活動を通して健康寿命を伸ばす取り組みを行っています。

取り組みの一部をご紹介しますと、健康づくりに積極的に取り組んでいる企業を認定する「あおもり健康アップ実践企業認定制度」が挙げられます。現在17の企業が

青森市長

最後に「まちなか保健室」を紹介願います。

最後に「まちなか保健室
ご紹介願います。



● 佐藤 香 ●
青森テレビアナウンサー。
担当番組は『わっち!!』木・金
MCなど



●鹿内 博●
1948年生、現在68歳。
2009年青森市長選挙に
初当選 現在2期目

青森市長
毛利

博